

資料2 別添1

各地域包括ケア推進会議における論点

各地域包括ケア推進会議における主な議論

包括	日	参加者						議題	①課題	②関係する個別事例	③地域での対応方針	④地域での対応状況 今後の方向性	⑤市レベルで期待すること	
		町会	0	医師	4	聴講	0							
明第1	5月23日	町会	0	医師	4	聴講	0	地域共生社会の実現～障害分野との連携～	○高齢者・障害者分野の関係機関の関りが希薄、連携が不十分である ○65歳時のサービスの切替、引き継ぎに制度の差がある	○知的障害を抱える夫婦が地域に馴染んで暮らせるために	○明第1地区の障害分野の社会資源を知る ○お互いの役割を知り顔の見えるネットワークを作る	○それぞれの立場でどのような取り組みができるか ○どのような仕組みがあればよいかを検討	○相談支援専門員や共生型事業所等支援者を増やす ○市・高齢者・障害者分野の顔の見える関係を構築する ○高齢者・障害者分野の制度の整合性を図る	
		地区社協	1	歯科医師	0	介護事業者								
		市社協	1	薬剤師	1	通所介護								2
		民生委員	3	看護師	0	訪問介護								1
		ボランティア		保健師	1	訪問看護								1
		高支連		医療相談員	1	グループホーム	1							1
		生活支援CO	1	理学療法士	0	小規模多機能								1
				基幹型	1	地域包括								7
				障害事業所	10	市役所								2
				ケアマネ	3	合計								42
明2西	5月10日	町会		医師	1	ケアマネ	8	地域共生社会を考える（障害福祉サービス分野の制度理解）	障害サービス利用者が65歳到達時、スムーズな介護保険サービスへの移行が困難な場合がある	障害サービスから介護保険への移行によって、支援内容が不足されなかったり、支援者が変わることに不安を抱く利用者の事例	○介護保険と障害サービス提供者間の相互理解や連携強化が必要 ○住民同士の支えあいを活用する ○専門職のスキルアップ	○障害福祉サービスの概要の理解が進む ○サロン開催やボランティア活動において、高齢者だけでなく、対象者を広くする。	○多分野の連携強化	
		地区社協		歯科医師	1	介護事業者								
		市社協		薬剤師	1	通所介護								1
		民生委員	1	看護師		訪問介護								
		ボランティア		作業療法士	1	訪問看護								1
		高支連	1	医療相談員		地域包括								4
		生活支援CO		理学療法士		市役所								6
				警察		特別養護老人ホーム								2
				相談支援専門員	1	認知症グループホーム								2
				基幹相談支援センター	1	合計								32

各地域包括ケア推進会議における主な議論

包括	日	参加者				議題	①課題	②関係する個別事例	③地域での対応方針	④地域での対応状況 今後の方向性	⑤市レベルで期待すること	
矢切	5月26日	町会	医師	1	ケアマネ	2	矢切地区におけるセルフネグレクトの予防に向けた支援について	<p>セルフネグレクトの意図性に関する支援</p> <p>○本人は本当に困っていない場合がある</p> <p>○支援を受けるメリットを感じられない等</p>	<p>○緩やかな見守りから専門的な見守りについて地域でも話しておく</p> <p>○会うことがメリットと感じてもらえるような支援を考える</p>	<p>困難さを感じていない状態から小さな不都合や困難さを感じた際にすぐに支援に入れる環境を作って行く</p>		
		地区社協	歯科医師	1	介護事業者							
		市社協	1	薬剤師	1	通所介護						1
		民生委員	5	看護師		福祉用具						1
		ボランティア		作業療法士	1	訪問看護						
		高支連		医療相談員		地域包括						5
		生活支援CO		理学療法士		市役所						1
				保健師	1	まつどNPO協議会						
		オレンジ協力		有識者		矢切支所						1
		特養	1			合計						23
東部	3月7日	町会	医師	1	ケアマネ	1	<p>ゴミ問題を通して、専門職、地域住民等それぞれの立場でどのような予測ができるか。</p>	<p>コロナ禍で集いの場が減少し、つながりが希薄になっている地域の中で、孤立を防ぎ見守りや声掛け等の支援体制を作る必要がある。</p>	<p>○ゴミ出しが出来ていた人が出来なくなることは、何らかの変化が予測される。</p> <p>○若年層のゴミ問題と高齢者のゴミ問題は解決すべき課題が異なる。世代に合わせた支援が必要。</p> <p>○ゴミを間違えた高齢者に対し、指摘するのではなく教えてあげるような言葉かけをする。</p>	<p>○ごみ屋敷問題を通して変化に気づく機会になるので、フローチャートを作成し、細分化していくことで、個々の課題が見え、解決に繋がる。</p> <p>○現在粗大ごみを自宅まで取りに来てくれる民間事業者の利用を検討する必要がある。</p> <p>○地域連携で助け合い活動をしていく。</p>	<p>ごみの分別が細かく分かれているため、機能低下している高齢者または認知症高齢者にはゴミが出せない状況が生じている。民間事業者やボランティアの支援が必要。</p>	
		地区社協	歯科医師	1	介護事業者							
		市社協		薬剤師	1	通所介護						
		民生委員	1	看護師	1	訪問介護						
		ボランティア		作業療法士		訪問看護						1
		高支連	1	医療相談員		地域包括						2
		生活支援CO	1	理学療法士	1	市役所						2
						合計						14

各地域包括ケア推進会議における主な議論

包括	日	参加者					議題	①課題	②関係する個別事例	③地域での対応方針	④地域での対応状況 今後の方向性	⑤市レベルで期待すること
常盤平	5月23日	町会	1	医師	1	ケアマネ	5	<p>○問題行動の背景に認知症があること の理解が難しい⇒ヘル プカード・マークな どの普及啓発が必 要)</p> <p>○障害サービスより 介護保険サービスが 優先となり思う様な サービスが受けられ ない。</p> <p>○家族が疲弊してい ても、助けを求めら れず、共倒れになっ てしまう可能性がある。</p>		<p>○認知症等サポート体制や 制度の紹介、問題の情報共 有</p> <p>○地域包括の相談先の周知 と地域包括から適切な別の 専門分野に繋ぐ。</p> <p>○地域で見守る、連携す る、「住みやすい街作り」 の意識を持つ。</p> <p>○介護サービス、後見人制 度のことなどに関心を持っ てもらうための情報を発信 する。</p> <p>○様々な専門分野で行って いる勉強会や研修などを 知ることができる仕組みを 作る。</p>	<p>○住みやすい街作りを 目指し、イベント、お祭 りの開催、参加声掛け</p> <p>○活動団体周知（民生委 員、相談協力員、認知症サ ポーター、オレンジ協力員 等)</p> <p>○つながりが持てる場所や 機会の確保</p> <p>○民生委員、社協、町会、 子供食堂等既存のネット ワークを再構築</p> <p>○SNSの活用、発信</p> <p>○町の掲示板を活用</p> <p>○関わりを持たない人への 対策</p>	<p>○地域の各機関のネット ワークをつなぐ</p> <p>○相談に対し、適切な機 関やサービスの情報提供 する。</p> <p>○様々な情報に関する勉 強会を開催する。</p> <p>○地域共生社会を目指し た交流会、勉強会の企 画、開催</p> <p>○各施設や店舗との連携 などのコーディネート</p> <p>○情報の壁を行政がカ バー（個人情報のルール の明確化や関係者間の橋 渡し役)</p>
		地区社協	0	歯科医師	1	介護事業者						
		市社協	0	薬剤師	2	通所介護	1					
		民生委員	2	保健師	1	福祉用具	1					
		ボランティア		理学療法士	1	訪問看護	1					
		高支連	1	医療相談員	2	地域包括	6					
		生活支援CO	0	障害相談員	1	市役所	2					
		警察	1	司法書士	1	特別養護老人ホーム	1					
				成年後見相談員	1	商店	2					
						合計	35					
常盤平 団地	4月6日	町会	0	医師		ケアマネ	5	<p>新規入居者への情報 発信、ニーズについ て</p>	<p>○住み慣れた街から見 知らぬ土地に来ても自 由に生活ができるよう な支援</p>	<p>○情報掲載場所の検討</p>	<p>○管理事務所、商店、薬局 などの協力を得る</p> <p>○棟毎（階段毎）の掲示板 の電子化、音声案内化</p>	
		地区社協	0	歯科医師	1	介護事業者						
		市社協	0	薬剤師	1	通所介護	0					
		民生委員	1	看護師	1	訪問介護	0					
		ボランティア		作業療法士		訪問看護	0					
		高支連	0	医療相談員	1	地域包括	4					
		生活支援CO	0	理学療法士	1	市役所	2					
		民児協	1	警察	0	司法書士	1					
				消防	0	団地事業者	2					
						合計	21					

各地域包括ケア推進会議における主な議論

包括	日	参加者					議題	①課題	②関係する個別事例	③地域での対応方針	④地域での対応状況 今後の方向性	⑤市レベルで期待すること	
五香松 飛台	5月18日	町会	1名	医師	1名	ケアマネ	5名	理想の地域を 目指した、自 己決定支援	ア 災害時の地域とケア マネの連携	災害時における民生委員・ 相談協力員とケアマネとの 連携方法の会議を8月に実 施。	被災者の確認手順や避難場 所等独居高齢者を中心に地 域の方とケアマネが共通認 識を持つ	防災計画や避難計画の普 及啓発	
		地区社協	3名	歯科医師	1名	介護事業者							
		市社協		薬剤師	1名	通所介護							
		民生委員	4名	看護師		訪問介護							
		ボランティア		常盤平基幹		訪問看護							1名
		高支連	6名	管理栄養士	1名	地域包括	5名						
		生活支 援CO		理学療法士	1名	市役所	1名						
		松戸 NPO	1名	学校長	1名	特別養護老 人ホーム	2名						
				健康推進課	1名	小規模多機 能							
				その他	1名	合計	37名						
六実 六高台	5月18日	町会	1名	医師	1名	ケアマネ	7名	困ったらど こに相談する 地域で出来る ことはないか	ア 金銭管理が できない方 ちょっとした困りご と(電気交換等)の支 援	〇成年後見人制度を周知す る。 〇市社協の役割を周知す る。 〇近所と繋がりを持つ。 〇社会資源を活用してい く。	〇社会資源の周知。 〇相談窓口の周知。 〇成年後見人制度啓発を行 う。 〇インフォーマルサービス の活用を促す。	〇相談窓口の周知のため の情報を発信。 〇ワンストップ窓口の検 討 〇AIチャットで適切に質 疑応答可能にする。	
		地区社協	1名	歯科医師	1名	介護事業者							
		市社協	0名	薬剤師	1名	通所介護							3名
		民生委員	1名	看護師	0名	訪問介護							1名
		ボランティア		作業療法士	0名	訪問看護							1名
		高支連	1名	医療相談員	0名	地域包括	4名						
		生活支 援CO	1名	理学療法士	1名	市役所	2名						
		老人会	0名	警察	0名	特別養護老 人ホーム	1名						
				消防	0名	グループ ホーム	1名						
				小規模多機 能	1名	合計	30名						

各地域包括ケア推進会議における主な議論

包括	日	参加者					議題	①課題	②関係する個別事例	③地域での対応方針	④地域での対応状況 今後の方向性	⑤市レベルで期待すること	
小金原	5月23日	町会	3	医師	1	ケアマネ	1	ア イ ウ	<p>支える側の人を増やしていく事が大切、病識の欠如から認知症の方への対応の仕方です。苦慮している事を抽出する。</p> <p>○子ども会が無くなり、老人会との交流がない。 ○独居である事を知られたくない人が多く、重症化してから、周りの人が気付く。</p>	<p>地域包括と連携の取れているコンビニ、子ども食堂の活動を紹介し地域での支援者の横の繋がりが大切であることを確認する。</p>	<p>○出張包括やパトウォークを町会・自治会と行い、地域とのつながりを強化 ○2層ワーキング等に参加し住民や専門職・多世代交流を行ない、地域共生の視点を持ち横の繋がりを作っていく。</p>	<p>「地域共生」について横につながる体制づくり。</p>	
		地区社協		歯科医師			介護事業者						
		市社協		薬剤師			通所介護						
		民生委員	1	保健師			訪問介護						
		ボランティア		作業療法士			訪問看護						
		高支連		スクールソーシャルワーカー			地域包括						
		生活支援CO		理学療法士	1	市役所	3						
		オレンジ協力員	1	UR			傍聴・包括						5
		MSW	1	ゆづりま銀行			小金原野おんぼ						
				活動団体			合計						17
新松戸	5月11日	町会	1	医師	1	ケアマネ	2	<p>○地域住民等の認知症への理解、高齢者への接し方の周知が不十分な部分がある。 ○見守る側も見守られる側も高齢者、高齢化が進むことにより対応に困る。 ○徘徊高齢者や毎日安否確認や見守りが必要な方を地域で生活を支えるにも限界がある。</p> <p>○認知症状・歩行障害がある本人と同居の子にも支援が必要なケース ○認知症のある高齢者夫婦と精神疾患のある子がいる世帯への支援 ○独居で在宅生活を希望する認知症・精神疾患のある高齢者への支援</p>	<p>○店舗、配達に関わる方：高齢者への対応についての研修や対応マニュアルを活用。いつもと違う状況があった際には地域包括や行政へ確認。 ○薬局：衣類の乱れや残薬があるのに来院する方などへ声をかける。話しやすい関係作りをしている。見守り協定を締結している薬局同士では毎月情報共有を行う。 ○地域・ボランティア：個別の見守りと安否確認を兼ねた集まる場の開催をする。活動内容や課題が出てきた場合は話し合いを行う。</p>	<p>○店舗、配達に関わる方：高齢者への対応についての研修や対応マニュアルを活用。いつもと違う状況があった際には地域包括や行政へ確認。 ○薬局：衣類の乱れや残薬があるのに来院する方などへ声をかける。話しやすい関係作りをしている。見守り協定を締結している薬局同士では毎月情報共有を行う。 ○地域・ボランティア：個別の見守りと安否確認を兼ねた集まる場の開催をする。活動内容や課題が出てきた場合は話し合いを行う。</p>	<p>○地域包括の活動・認サポの周知活動を継続し地域包括の活用を促す。 ○地域での掘り起こしを行うとともに、集いの場で顔見知りになることで支援に繋げる。 ○緊急時に自動で登録先の家族に連絡が行くようなシステムの利用を勧める。 24時間対応可能なサービス利用へのケアプランの見直しを行う。医療介護サービス関係者とボランティアとの情報共有を図る。横の繋がりを作る。</p>	<p>○高齢者等見守り協定締結事業者を増やす。</p>	
		地区社協		歯科医師	1		介護事業者						
		市社協	1	薬剤師	1		通所介護						
		民生委員 (高支連)	1	看護師			訪問介護						
		ボランティア		作業療法士			訪問看護						1
		高支連		医療相談員	1		地域包括						5
		生活支援CO		理学療法士			市役所						2
		マンション	2	警察			障害関係						1
		オレンジ協力員	1	消防			企業						2
		保健師	1	言語聴覚士	1		合計						25

各地域包括ケア推進会議における主な議論

包括	日	参加者				議題	①課題	②関係する個別事例	③地域での対応方針	④地域での対応状況 今後の方向性	⑤市レベルで期待すること	
馬橋西	5月26日	町会	医師	ケアマネ	2	家族との関係性も希薄で、地域ともつながりを持たない高齢者、認知症、精神疾患がある方等の見守りや、繋がっていく為の居場所づくりについて	ア	地域の見守り状況についての確認（詐欺被害の状況等も含む）	判断能力が落ちてきている方が詐欺被害にあっている、屋根の修理、不用品買取、オレオレ詐欺等。	訪問する際などに詐欺被害にあっていないかや今後被害にあう可能性が無いかなど気を付けて対応する様になった。	必要な情報が必要な方に届く様に詐欺被害等を含め普及啓発を継続していく。	詐欺被害の普及啓発活動、講演会の実施等。
		地区社協	1 歯科医師	1 介護事業者	通所介護							
		市社協	1 薬剤師	2			訪問介護					
		民生委員	3 看護師	訪問リハビリ								
		ボランティア	作業療法士		1							
		高支連	医療相談員	地域包括	4		イ	馬橋西地区での居場所、通いの場についての情報交換。	家族関係や地域との関係が希薄な為、必要な情報が届かない事がある。	認知症、精神疾患等がある方や独居の高齢者に対しては個別に必要な情報を伝えていく。	〇コンビニとの連携。 〇コインランドリー等の利用を検討。コインランドリーの場所を把握する。	
		生活支援CO	理学療法士	市役所	3							
			警察	特別養護老人ホーム	1		ウ	馬橋西地区で居場所、通いの場を作っていく為に必要な事とは。		〇協力し居場所を作る。 〇マンツーマンが好きな方等もいるので、個別に集うことができる場を考える。	〇空き家の利用等の検討。 〇市民センターや町会会館等の利用、出てきやすい場を見つける。 〇ジグソーパズルや知恵の輪等を使っでの交流をする。	
			消防	看護小規模多機能								
				合計	19							
馬橋	5月11日	町会	医師	ケアマネ	1	防災力を高めていくための地域の関係性づくり	ア	防災、災害時の対応について、地域包括として取り組むべきことが明確になっていない。	〇サービス提供者が、自宅内の整理ができていない人に対して防災の呼びかけをするが、行動変容には繋がっていない。	〇民生委員では、高齢者のリスト作りを進めている。 〇各介護事業所では、利用者の状況の把握や啓発活動を行っている。	〇情報を共有する手段やシステムがない。 〇馬橋地区に特化した防災マップを作成する。 〇マップを作成した上で、避難が困難な地域での避難方法を地域住民と一緒に考える。	〇災害時の地域包括や介護事業所との情報共有のシステムづくり
		地区社協	歯科医師	1 介護事業者	通所介護							
		市社協	1 薬剤師	1			訪問介護					
		民生委員	1 看護師	1	訪問看護							
		ボランティア	作業療法士	訪問看護								
		高支連	医療相談員		地域包括		5	イ				
		生活支援CO	管理栄養士	1 市役所	1							
			警察	グループホーム	1		ウ					
			消防	小規模多機能	2							
				合計	18							